

アドバイザー  
まちづくり支援員の8名



大阪市では、「新たな地域コミュニティ支援事業」において、市内を5ブロックに分

け、事業の企画提案を募集。平野区では、ブロック内の6区社協、市社協、りそな総合研

究所の共同体がこれらの支援を行う中間支援組織としての業務委託を受けました。

10月1日にアドバイザーを設置、区まちづくりセンター支部の開設に向け準備をすすめてきました。11月1日より平野区役所2階市民協働課内に「平野区まちづくりセンター支部」を開設、アドバイザー1名、地域まちづくり支援員7名、事務員1名の体制で開始しました。

この手法は、お互いの強みを活かし、足りないところを補う、組み

合わせるによる協働喚起を行うために、地域団体や関係機関、企業やNPOなどの取材・インタビューを行いま

そこで得た強みの要素や社会貢献・地域貢献の可能性を編集・可視化する作業を進めています。その中で、新



いにつなげていくきっかけづくりとして、平成24年12月27日に第1回の平野区「地域編集塾」を開催しました。

大阪市の新たなコミュニティ支援事業第1第5ブロックのスーパーバイザーであり、りそな総合研究所のプロジェクト・フェローの藤原明氏に、ご

「つながる社協」新たな出発

大阪市が公募する新たな地域コミュニティ支援事業は、活力ある地域社会づくりに向けて、各種地域団体や企業、NPOなど多様な主体が地域社会の将来像を共有し、それぞれの特性を發揮し、地域におけるさまざまな課題に取り組みめるよう、自律的な地域運営の仕組みづくりを支援することが目的です。

区まちづくりセンター支部は、地域コミュニティの多様な地域組織・市民活動団体・企業等のネットワーク形成支援及び自律・自立的な地域運営を行うしくみ（地域活動協議会）の形成支援と運営支援を主たる業務として

平成25年度より4年間の「地域包括支援センター運営業務」、平成25年度「子ども・子育てプラザ」にかかる大阪

それぞれの事業を単独事業として扱わず、常に相互の関わりを模索しながら、さらには地域の皆様方が行っている福祉活動と「つながる」(連携)運営してまいります。そうすることで、「住民主体」のまちづくりや「互助の輪」が広がり、「社協らしさ」「社協の特長」が發揮できると考えています。

大阪市が公募の3事業で受託決定

新たな地域コミュニティ支援のため  
「平野区まちづくりセンター」がスタート

区社協だより

# ひらめ

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会  
〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号  
平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター)  
TEL:06-6795-2525  
FAX:06-6795-2929  
http://hirano.kusyakyou.or.jp/

慈善バザー

ご不要な品物(新品)の提供をお願いします。  
但し、飲食物はご遠慮下さい。  
収益金(全額)で、社会福祉協議会(にこにこセンター)に車椅子を贈呈します。(実績24台)

3月24日(日)午前11時より  
新聞屋さん博物館前にて  
(中央本通り) 全興寺隣

(株)小林新聞舗  
(地下鉄平野駅前)  
TEL6799-0363(松沼)

包括・プラザ事業も受託

さまざまな地域課題の本質的解決を目指すために①お互いの強みを活かし②足りないところを補う③組み合わせによる協働喚起の手法として地域編集を用います。

和っしよい! 緑日  
和っしよい! ひらの推進大会

日時 平成25年3月24日(日) 午前11時~午後4時

会場 コミュニティプラザ平野(平野区長吉出戸5-3-58)

内容 緑日:体験・趣味・遊び・食べる・学ぶコーナー  
推進大会:トークセッション(午後1時30分~午後3時) <定員:80人>  
和っしよい!ひらの運営委員×塚原剛氏(元平野区役所総合企画課長)

講演  
「(仮)地域編集!協働の有効性を体感、多様な地域活動を喚起する」  
藤原明氏(りそな総合研究所 プロジェクトフェロー)

新登場! 食品サンプル体験 <イメージ>

# 平野区地域包括支援センターだより

あなたによりそう・手と手がつながる

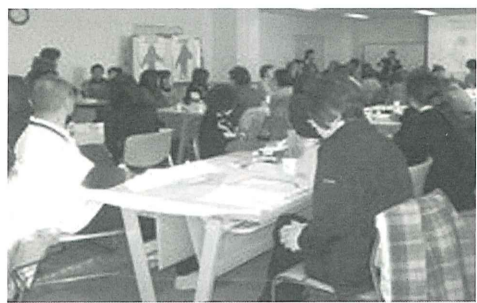
## 平野るんるん 交流会開催

平野区においては、平成22年に認知症高齢者支援として連絡会を立ち上げ、たくさんの方の関心・参加から委員として参加いただき、専門職向けの研修や区民向けの講演、そして認知症支援マップの作成をいたしました。

平成24年度は、これまで学んだことや深めてきた多職種のネットワークを、より生活の場に近い地域でのネットワーク構築のための顔の見える関係づくりを目指して、平成25年1月19日(土)に平野区医師会との共催で交流会を開催しました。

交流会のテーマは「認知症になっても楽しく過ごせるために、私たちにできること」

〈写真〉



とし、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域の方(ネットワーク委員長、ネットワーク推進員、民生委員、老人クラブの方)、介護支援専門員、サービス提供事業所(訪問看護、訪問介護、通所介護)、グループホーム、区役所、市・区社会福祉協議会と地域包括支援センターから47人が参加しました。

はじめに、平野区医師会理事であり、るんるんネットワーク委員長である入谷医院の入谷先生から「顔の見える関係が大切」との挨拶がありました。

交流会は楽しく本音を話していただくという事で、「ワールド・カフェ」形式で行いました。1つのステージを各テーブル5人で20分間話してもらい、次のステージでは席を移動し、新しいメンバーで話し合うという方法です。笑い声も混じりながら和やかな雰囲気で見聞交換をされていました。

また、交流会の他に、地域包括支援センターから事例を通じて多職種他機関連携の具体例と地域包括支援センターが主催する地域ケア会議の報告も行いました。

さらに、市社協南エリア認知症連携担当の森岡氏から、医療における認知症の方への支援体制について説明がありました。

最後に、認知症サポート医であるむいメンタルクリニックの無井先生からも、「これから交流会を開催していきたい。」との意見を頂き、和やかに閉会しました。

今回の交流会は3月9日(土) 14時から平野区民センターで開催されるシンポジウムでも報告をいたします。

つなげるカード

## つなげるカード

高齢者の方の健康と暮らしを守るために、医療・保健・福祉に関わる者が連携し、情報の共有化を図るようにつなげるカードを目的としたカードです。

区内に住む65歳以上の必要な方を対象として、無料で発行いたします。カードには、かかりつけ医・歯科・薬局・ケアマネジャー・訪問介護・ネットワー

ク推進員などの連絡先と、緊急時の連絡先などが記入できるようになっています。

携帯していただくのと、このような時など安心です!

〇ご自身で説明しにくい、うまく伝えられない場合でも、専門家同士照会先がわかるので安心です。

〇外出先での緊急時に「本人情報」が役立つ、すぐに連絡できます。

## お知らせ

るんるんネットワーク  
シンポジウム  
認知症を知ろう!

〓わかりあおう、そして  
つながりあおう〓

日時  
平成25年3月9日(土)  
午後2時~4時30分  
(開場1時30分)

場所  
平野区民センター  
(平野区出口5-3-58)

申し込み不要です。  
どうぞご参加ください。

## ボランティアビューローだより

平野区平野東2-1-30  
「こここセンター内」  
☎6795-2200

## こここの ほかほか講座開催

平野区ボランティアビューローでは平成25年1月25日(金)と2月1日(金)に精神保健福祉ボランティア養成講座「こここのほかほか講座を開催しました。〈写真〉

【共催】精神保健福祉ボランティアグループ「ユニコーン」、平野区保健福祉センター

【後援】NPO法人オリーブひらの、平野区ボランティアビューロー

臨床心理士・田村雅幸先生を講師に「心の病を持つ方との良いコミュニケーションとは」についてご講義いただきました。はじめに心の病について主な原因

や症状などわかりやすい説明があり、良いコミュニケーションは、「ていねいにこの人と向き合いたいと思えば態度も自然にやさしくなれる」と相手との信頼関係を作るこの大切さを話していただきました。

相談支援

こここの病のある方が早期に医療に結びつくように、また精神的な障がいをもつ方が社会適応できるように相談支援を行っています。その他に家族が安心して障がい者を支えていけるように家族教

室の開催(毎月1回)や社会復帰相談指導事業、講演会等の啓発活動などを実施しています。

共に手を携えて

精神障がい者に寄り添い、共に手を携えて同じ住民として活動すること、障がいのあるなしにかかわらず自分も含め、誰にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた活動です。平野区ではボランティアグループ「ユニコーン」が保健福祉センターやNPO法人オリーブひらのと連携して活動しています。

子ども

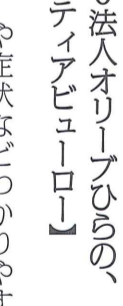
地域の学校(小・中・高校、大学)から福祉教育の問い合わせが、年間を通して数多くボランティアビューローにあります。福祉教育といっても内容はさまざまですが、高齢者疑似体験や車椅子・手引きの体験などがあります。先日、区内の某小学校の福祉体験学習として高齢者疑似体験を行い、体験を通してどのよう感じたのか「老いるとはどんなことか」を考えたもらいました。地域

## 子どもの生きる力と体験の大切さ

で高齢者の方が困っておられたら体験したことを思い出して声をかける「きっかけ」になればと話をさせていただきました。また、一度体験して終わりではなく、体験を通して何を学んだのかを振り返

ることが大切とお伝えしています。

将来社会を担う子どもたちに共に支え合い、共に生きることが理解され、誰もが安心して暮らせる地域になればと思っています。



小学校での高齢者疑似体験

話してスツキリ 男性介護者

平野区介護家族の会 「談語の会」

「一生懸命に介護をしているのに、想いが伝わらない」「イライラして、つい手を挙げたくなる」「これから介護をするのだがとても不安だ」「介護について、不安や悩みを持つ方、また、周囲に気になる方はいませんか？」

介護家族の会「談語の会」は、実際に介護をされている方、また介護を経験された方が集まり、お互いの介護についての悩みや不安、経験について語り

合っています。

経験者が語り合う事で、疑問や不安に対する新たな解決方法を知り、「自分だけではなかった」という孤独感の解消にもつながっています。

最近では男性の介護者の参加が増えていますが、男性の介護者は、介護を自身で抱え込みストレスをためやすい傾向にあるようです。ストレスから虐待につながるケースもあるので、談語の会で日頃の介護不安を聞いて

もらうことでスツキリして帰られています。

定例会は、毎月第1木曜日、午後1時30分から、平野区社会福祉協議会3階にて行っています。参加は自由です。

認知症の方が地域で安心して暮らしていくために、当事者・家族・そして地域がそれぞれどのような思いを持ち、どのようななか

講演会のお知らせ

認知症の方が地域で安心して暮らしていくために、当事者・家族・そして地域がそれぞれどのような思いを持ち、どのようななか

わりが出来るのか、介護を経験された方も、経験のない方も、みんなで一緒に考えてみます。

せんか？多くの方のご参加をお待ちしております。

今こそ...今だから知りたい 認知症介護

開催日：平成25年3月23日(土) 午後1時30分～午後3時30分(受付：午後1時～) 場所：平野区社会福祉協議会 2階ホール 内容：講演 無料 山王丸由紀子氏(NPO法人フェリスモンテ代表) パネルディスカッション 談語の会メンバー×地域活動者×山王丸氏 定員：70名(先着順) \*要介護者の一時預かりが必要な方は、事前にご相談ください。 申込み・お問い合わせ 電話・FAX・来館にて受け付けております。 TEL 06-6795-2525 FAX 06-6795-2929

オレンジリングは、認知症サポートー養成講座を受講し、認知症の理解者で、認知症の方とその家族を支える証です。キャラバンメイト(認知症サポートー養成講座の講師)連絡会は、認知症になっても住み慣れた地域で、住み続けることが出来るように、認知症サポートー養成講座(受講無料)を開催しています。

今年度は、50回の認知症サポートー養成講座を開催し、住民1010人に加え、平野区役所の人権研修において、全職員約400人が認知症サポートーになりました。オレンジリングを胸に区民に寄り添った窓口対応が期待されます。

広がる オレンジリングのわ 認知症サポーター養成講座

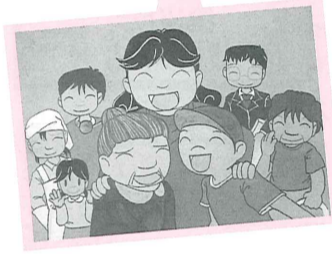


今年度は、50回の認知症サポートー養成講座を開催し、住民1010人に加え、平野区役所の人権研修において、全職員約400人が認知症サポートーになりました。オレンジリングを胸に区民に寄り添った窓口対応が期待されます。

好評 キッズ向け紙芝居

今年度は、大学生、高校生、中学生のサポートー養成も行ってきました。

そのために、小学生向けのキッズサポートー養成用の教材と紙芝居を当協議会の地域生活支援ワーカーが作成しました。



お披露目は、1月19日に新平野西子どもの家、2月5日に平野南子どもの家で行いました(上の写真)。両日とも、子どもたちの反

応は上々で、紙芝居に見入っていました。核家族化や地域の絆の希薄化が進む中、子どもたちは高齢者と接する機会が少なくなっています。認知症や高齢者に対する理解を深め、地域で認知症の方やその家族を暖かく見守り応援して頂けるように、地区社協など地域の方々のご協力のもと、今後とも取り組んでいきます。

受講生募集中 無料 認知症サポーター養成講座 場所：平野区社会福祉協議会 にここセンター 日時：平成25年3月13日(水) 午前10時～午前11時 申し込み・お問い合わせ 06-6795-2525

共同募金の配分金は、“地域福祉の大きな力！”

本年度も10月1日～12月31日に実施されました「赤い羽根共同募金」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。当区社協も、寄付金より下記のとおり配分金を活用し、各種事業を行なっています。

Table with 3 columns: 収入金額, 支出金額, 金額. Rows include 地域配分金, その他特別配分, 合計 for 平成23年度.

Table with 3 columns: 収入金額, 支出金額, 金額. Rows include 地域配分金, その他特別配分, 合計 for 平成24年度.

※配分事業内容などは、赤い羽根データベース「はねっと」で公表されています。 http://www.akaihane.or.jp/hanett/

ここにこの楽しい一日 平野区在宅デイサービスセンター

要支援の方もOK 平野区在宅デイサービスセンターでは、介護保険の要支援・要介護認定を受けられた方を対象に、食事や入浴(車椅子の方も安心してご入浴できます)など、お一人おひとりのご希望に合わせて快適な1日を過ごしていただけるよう日常生活上のお世話を適切に行っ



アイアさんのご協力による歌体操(写真左下)や阿波踊りなども行っています。 営業時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後3時30分です。ただし、土日・日曜日・国民の祝日および年末年始(12月29日～1月3日)は休業日です。 見学・体験利用はいつでもできますので、お気軽にお問い合わせください。

送迎車運転手・看護師 パート職員募集 週2日程度から相談に応じます。 詳しくはお問い合わせください。 0679552525 (担当：小谷)

今号は、発行50号の記念です。約18年間、区民の皆様は地域福祉情報の発信・啓発に努めてきました。この間、平野区の様子も社会福祉も大きく変わりました。当時の出来事と一緒に振り返ります。

ぜひ、「一読いただき、ご家族、地域での話題にご活用ください。」

**創刊号 (平成6年7月)**

「思いは同じ」と当時の森田昭信会長と開田徹区長が、「公と民間の持ち味を生かした活動をしながら常に協力しあって活気ある平野区にしていきましょう」と、語りあっておられます。

また、平成5年12月5日、社会福祉法人として「人にあたたかい

**第9号 (平成10年7月)**

今号では、平成10年6月11日、公設市場の跡地に区社協の拠点として、平野区在宅サービスセンターがオープンしたことを紹介。在宅介護支援センター・デイサービス・食事サービス・ホームヘルプ・訪問入浴・訪問看護ステーション・機能訓練事業など、誰もがここに笑顔で暮らせる町づくりを目指し、愛称も「ここにセンター」となりました。さらに、電話番号の末尾も2525（ここにこ）とし、関係者の熱い思いがこも

ら、平成5年12月5日、社会福祉法人として「人にあたたかい



1面では、まちづくりをめぐり、新たなスタートを切ったこと、ボランティアビューローの運営、敬老月間事業、布団乾燥サービス、各種講習会、福祉機器展、講演会の開催など：区民の皆様と手を取り合っ

て住みよいまちづくりを進めていこうと決意し、目的に向かって

1面では、平野区地域福祉アクションプランの愛称が「和っしひら」に決定され、いよいよプランの実現に向け、実践していこうと呼びかけています。また、子育て情報冊子の作成に当たって、掲載を希望するグループなどを広く募っています。

2面では介護保険制度の改正により、介護予防や総合相談の拠点として「地域包括支援センター」を設置し、区社協が運営すること

を掲載。さらに、区内12の在宅サービスステーションが紹介されています。

# 笑顔があふれる未来に向かって!!



また、区社協の独自事業として、高齢者や障がい者の外出のお手伝いをする「送迎サービス活動」や、発達に遅れがある子どもたちが安心して遊べる場、お母さんたちの交流の場を提供する「おもちゃ図書館活動」の開設

準備の真っ最中でした。それぞれの活動は今もなお継続しています。

3月11日に発生した「東日本大震災」以降、復興に向けて全国に

この年の主な出来事は、ニュージールランド地震や世界各地で地震や台風、火山の噴火など自然災害が多発。小笠原諸島と平泉が世界遺産・サッカー「なでしこジャパン」世界一

この年の主な出来事は、ハンカチ王子が優勝。安部晋三内閣発足。悠仁様お誕生。荒川静香金メダルなど。

**編集後記**

50号記念はいかがでしたか。▼今、大阪の地域福祉は大きな転換期かも知れません。▼大阪府が設置した方面委員制度は、民生委員制度の源流です。他にも

多くの篤志家による福祉活動が全国に先駆け

▼歴史に学び、今を知り、これからのことを皆で考え、協働していきましょう。(ま)

**賛助会員を募集!!**

平野区社会福祉協議会は、誰もが「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を大きな目的として、福祉事業を推進しています。

活動にご賛同いただき、賛助会員としてご協力をお願いいたします!!

**年会費**

個人会員 … 1口 1,000円 法人・団体会員 … 1口10,000円

※ただし、口数に制限はありません。

**直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みください**

**[加入者名] 社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会**

**[口座番号] 00970-8-139180**

**善意銀行**

～ご寄付ありがとうございます～

平成24年9月から平成25年1月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。

皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のため

に有効に活用させていただきます。

《金銭預託》  
藤本貢、渡邊美穂子、大阪東部ヤクルト販売(株)、(株)小林新聞舗、区社協ボランティアビューロー

《物品預託》  
(株)小林新聞舗 車いす2台、大阪厚生信用金庫平野支店 車いす3台

(順不同、敬称略)

※善意銀行への預託は、税法上(所得税・市民税)の寄付金控除の対象になります。

